

眼科に通院・入院していた患者さんまたはご家族の方へ
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体や患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 網膜色素変性における抗網膜抗体の解析と病態修飾の解明

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 安藤 亮（医学研究院眼科学教室・助教）

[研究の目的]

網膜色素変性の患者さんから血液検体を採取し、抗網膜抗体*を検査します。網膜色素変性における抗網膜抗体の陽性数や種類を解析し、臨床所見との関連について調べます。また、対照群として、網膜前膜および黄斑円孔の患者さんの血液検体と、過去に取得し保存されている網膜前膜および黄斑円孔の患者さんの血液検体を用いて、網膜色素変性の患者さんと対照群の患者さんの間で、抗網膜抗体の陽性数や種類について違いがあるかどうかを比較します。

*抗網膜抗体とは自己の網膜を攻撃してしまう抗体のことをいいます。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

- ・北海道大学病院眼科に通院または入院中の網膜色素変性と診断された患者さん
- ・北海道大学病院眼科に通院または入院歴があり、過去に研究目的で検体を保存することに同意頂いた網膜前膜および黄斑円孔の患者さん（2008年～実施許可日までに検体保管に同意を頂いた方）、および北海道大学病院眼科に通院または入院中の網膜前膜および黄斑円孔の患者さん

○利用する検体・カルテ情報

検体：血液

カルテ情報：

- ① 背景情報：年齢、性別、主訴、症状、病歴、診断名、治療歴
- ② 自覚的検査結果：視力、視野
- ③ 他覚的検査結果：屈折値、細隙灯顕微鏡所見、眼底写真および所見、光干渉断層計 [網膜・脈絡膜の断層像、断面像を撮影]、蛍光眼底造影検査、眼底自発蛍光、網膜電図]

[研究実施期間]

実施許可日～2026年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

2025年3月12日（第7版）

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院眼科 担当医師 安藤 亮

電話 011-706-5944 FAX 011-706-5948